

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3086525号

(U3086525)

(45) 発行日 平成14年6月28日 (2002.6.28)

(24) 登録日 平成14年3月27日 (2002.3.27)

(51) Int. Cl. ⁷	類別記号	F I	
G 0 6 K 19/00		G 0 6 F 3/00	S
G 0 6 F 3/00		G 1 1 C 5/00	3 0 1 B
G 1 1 C 5/00	3 0 1	G 0 6 K 19/00	Q

評価書の請求 未請求 請求項の数 7 ○ L (全 9 頁)

(21) 出願番号 実願2001-7979 (U2001-7979)

(22) 出願日 平成13年12月7日 (2001.12.7)

(73) 実用新案権者 598117584

意得股▲ふん▼有限公司
 台湾省桃園縣泰山鄉民生北路一段508號 2
 樓

(72) 考案者 吳 貴桐

台湾台北市天母東路165巷39號 2 樓

(74) 代理人 100052304

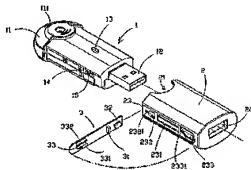
非理士 竹本 松野 (外 5 名)

(54) 【考案の名称】 伸縮収納可能な携帯式記憶装置

(57) 【要約】

【課題】 伸縮収納可能な携帯式記憶装置の提供。

【解決手段】 ケースカバーが記憶装置本体のコネクタヘッドを具えた一端に差設され、該ケースカバーのもう一端に貫通孔が設けられて、コネクタヘッドを外向きに凸伸させられ、且つケースカバーの二側に内向きに凸伸するストップ板が設けられ、記憶装置本体の二側中段にそれぞれ外向きに凸伸する側凸塊が設けられ、ストップ板が側凸塊の外向きのスライドを制限し、有効にケースカバーと記憶装置本体の相対伸縮スライドを規制し、コネクタヘッドが外向きに凸伸或いは内縮する動作変化可能で、並びに設定位置に位置決めされ、使用に便利で収納携帯に便利な機能を実現する。



(2)

実登3086525

1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 伸縮収縮可能な携帯式記憶装置において、

記憶装置本体とされ、一端部に凸伸するコネクタヘッドが設けられ、該記憶装置本体の二側面中段それぞれ外向きに突出する側凸塊が設けられた、上記記憶装置本体と、

ケースカバーとされ、その一端に開口が設けられて、前述の記憶装置本体の挿入に供され、ケースカバーの側面に貫通孔が設けられ、該記憶装置本体のコネクタヘッドの外向きに凸伸に供され、該ケースカバーの二側面中段それぞれ内向きに凸伸するストップ板が設けられ、該ストップ板が前述の記憶装置本体の側凸塊の外向きの滑動を阻止し、記憶装置本体をケースカバー内に保持して任意スライドさせ、且つコネクタヘッドが貫通孔より外向きに凸伸するか或いは内向きに収縮される位置変化を形成可能とされた、上記ケースカバーと、

少なくとも二具えたことを特徴とする、伸縮収縮可能な携帯式記憶装置。

【請求項2】 前記伸縮収縮可能な携帯式記憶装置において、ケースカバー内に伸入するストップ板が二つの側面中段と結合する部分の中段に対応して開口が設けられ、側面中段とケースカバーが結合される時、ストップ板がケースカバー内に伸入することを特徴とする、請求項1に記載の伸縮収縮可能な携帯式記憶装置。

【請求項3】 前記伸縮収縮可能な携帯式記憶装置において、少なくとも一つの側面中段の二端部分に丁形断面を呈するフック板が設けられ、ケースカバーの対応する結合部分に拡張開口が設けられ、並びに拡張開口の端より案内溝が延伸され、フック板が拡張開口に伸入し、並びに案内溝に沿ってスライドし、フック板が案内溝内に係止される時、側面中段がしっかりとケースカバーの二側に結合されることを特徴とする、請求項2に記載の伸縮収縮可能な携帯式記憶装置。

【請求項4】 前記伸縮収縮可能な携帯式記憶装置において、一つの側面中段の一端に記憶装置本体のスライド方向に沿って長孔が設けられ、且つ該長孔の一辺側に隔壁が設けられ、もう一辺側に単側フック板が設けられ、ケースカバーの対応する結合部分に拡張開口が設けられ、並びに拡張開口の端より案内溝が延伸され、該隔壁と単側フック板が拡張開口に伸入し、並びに案内溝に沿ってスライドし、単側フック板により案内溝内に係止され、側面中段がしっかりとケースカバーの側面に結合され、並びに長孔を經由してケースカバー内と連通する空間が形成されたことを特徴とする、請求項3に記載

2

の伸縮収縮可能な携帯式記憶装置。

【請求項5】 前記伸縮収縮可能な携帯式記憶装置において、記憶装置本体の中段両端に少なくとも一つの凸塊が設けられ、ケースカバーの内縁の対応位置に案内溝が設けられて、該凸塊の嵌入に供され、並びに記憶装置本体のケースカバー内でのスライドを案内することを特徴とする、請求項1に記載の伸縮収縮可能な携帯式記憶装置。

【請求項6】 前記伸縮収縮可能な携帯式記憶装置において、記憶装置本体のケースカバーの一端より突出する部分に少なくとも一つのフック孔が設けられ、溝或いはキーホルダーを通すのに供されることを特徴とする、請求項1に記載の伸縮収縮可能な携帯式記憶装置。

【請求項7】 前記伸縮収縮可能な携帯式記憶装置において、コネクタヘッドがUSBコネクタとされたことを特徴とする、請求項1に記載の伸縮収縮可能な携帯式記憶装置。

【四面の簡単な説明】

【図1】本発明の分解斜視図である。

【図2】本発明の側面からみた分解斜視図である。

【図3】本発明のコネクタヘッド収縮時の動作表示図である。

【図4】本発明のコネクタヘッド凸伸時の動作表示図である。

【図5】本発明のコネクタヘッド収縮時の平面断面図である。

【図6】本発明のコネクタヘッド凸伸時の平面断面図である。

【図7】本発明のコネクタヘッド収縮時の側面断面図である。

【図8】本発明のコネクタヘッド凸伸時の側面断面図である。

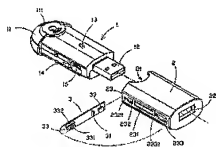
【符号の説明】

1	記憶装置本体	2 3 1、2 4 1	側開口
1 1	凸伸止部	2 3 2、2 3 3、2 4 2、2	
4 3	拡張開口		
1 1 1	フック孔	2 3 2 1、2 3 3 1、2 4 2	
1	2 4 3 1	案内溝	
1 2	コネクタヘッド	2 5	案内溝内溝
1 3	凸塊	3、4	側面中段
1 4	側凸塊	3 1、4 1	ストップ板
1 5	駆動スイッチ	3 2、4 2、4 3	フック板
2	ケースカバー	3 3	長孔
2 1	開口	3 3 1	単側フック板
2 2	貫通孔	3 3 2	隔壁
2 3、2 4	側溝内溝		

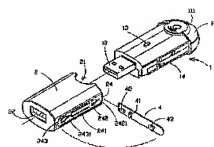
(3)

実登3086525

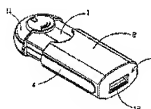
【図1】



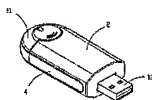
【図2】



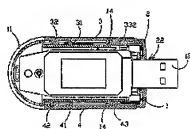
【図3】



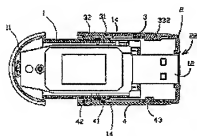
【図4】



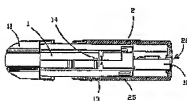
【図5】



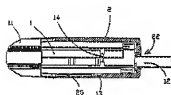
【図6】



【図7】



【図8】



(4)

実装3086525

【考案の詳細な説明】

【0001】

【考案の属する技術分野】

本考案は一種の伸縮収納可能な携帯式記憶装置に係り、特に、体積が小さく、携帯し易く使用が簡便で、保護性が良好な伸縮収納可能な携帯式記憶装置に関する。

【0002】

【従来の技術】

コンピュータ及び関連情報製品の発明は、人々の生活習慣を改変し、情報の快速流通と情報処理能力の増加により、社会環境と形態も快速に変遷した。上述の情報の流通には多くの方式があり、例えば、現在極めて流行しているインターネット、LAN、無線伝送、無線ネットワーク伝送等がある。そのうち、伝送効率、コスト、回路延伸密度及びデータ伝送の安定性等を考慮すると、ネットワーク応用には未だ克服されていないネックがあり、このため、適当な記憶装置で必要な情報を保存し、並びに携帯できる特性を持たせることは、現在の情報保存及び流通のもう一つの思考方向である。

【0003】

さらに、科学技術の進歩と流行の影響により、各種の生活必需品（特に電器、情報製品）はすでに堅薄短小化の方向に発展しており、この前提下で、上述の各種の情報処理或いはデータ保存を満足させる記憶装置もまた、体積が小さく、使用が簡便で、携帯しやすい特性を持たなければ、市場での競争力を有するための基本要求を達成できない。例えば現在広く歓迎されているフラッシュRAMモジュールは、USBでパソコン、ノートパソコンに接続される記憶装置製品であり、それは十分に上述の体積が小さく、使用が簡便で、携帯しやすい特性を満足させ、大衆の需要に符合する。

【0004】

しかし、関連して発生する一つの問題があり、即ち、上述の記憶装置は使用が簡便で、携帯しやすいことを第一に考えられているが、その携帯時に、一般にポケット或いはバッグに収容され、行動中に発生する揺れや衝突或いは不正常な具

(5)

実装3086525

物による圧迫により、露出部品（特にUSBコネクタ）の損傷を形成する。このため、露出部品（USBコネクタ）外に別にカバーを設けて遮蔽する設計により、損害を防止している。しかし、実際の応用上、このカバーは使用時に分離して取り外さねばならず、記憶モジュールの使用時間及び関係環境がいずれも極めて複雑であり、反復し結合し、取り外して別に放置するうちに、カバーを遺失することがあり、もとの露出部品保護の機能を失墜した。ゆえに、いかに製品の完全性と保護機能を確認する前提下で使用が簡便で携帯しやすい目的を達成するかが、関係業者が努力すべき課題であった。

【0005】

本考案は周知の携帯式記憶装置の有する上述の欠点を鑑み、その改善のために提供される。

【0006】

【考案が解決しようとする課題】

本考案は一箇の伸縮収納可能な携帯式記憶装置を提供することを課題とし、それは、ケースカバーが記憶装置本体のコネクタヘッドを具えた一端に套設され、該ケースカバーの另一端に貫通孔が設けられて、コネクタヘッドを外向きに凸伸させられ、ケースカバーと記憶装置本体の相対伸縮スライドに、ケースカバー内と記憶装置本体外側に対応設置されたストッパ板、側凸塊が組み合わされることにより、コネクタヘッドが外向きに凸伸或いは収縮する動作変換可能とされ、並びに設定位置に位置決められ、使用に便利で収納携帯に便利な機能を達成する。

【0007】

【課題を解決するための手段】

請求項1の考案は、伸縮収納可能な携帯式記憶装置において、

記憶装置本体とされ、一端部に凸伸するコネクタヘッドが設けられ、該記憶装置本体の二側中段それぞれに外向きに突出する側凸塊が設けられた、上記記憶装置本体と、

ケースカバーとされ、その一端に開口が設けられて、前述の記憶装置本体の伸入に供され、ケースカバーの別端に貫通孔が設けられ、該記憶装置本体のコネク

(6)

実査3086625

タヘッドの外向きに凸伸に係され、該ケースカバーの二内側中段それぞれに内向きに凸伸するストッパ板が設けられ、該ストッパ板が前述の記憶装置本体の側凸塊の外向きの滑脱を阻止し、記憶装置本体をケースカバー内に保持して往復スライドさせ、且つコネクタヘッドが貫通孔より外向きに凸伸するか或いは内向きに収納される位置変化を形成可能とされた、上記ケースカバーと、

を少なくとも具えたことを特徴とする、伸縮収納可能な携帯式記憶装置としている。

請求項2の考案は、前記伸縮収納可能な携帯式記憶装置において、ケースカバー内に伸入するストッパ板が二つの側装飾条の中段部分にそれぞれ設置され、ケースカバーの二側の側装飾条と結合する部分の中段に対応して側開口が設けられ、側装飾条とケースカバーが結合される時、ストッパ板がケースカバー内に伸入することを特徴とする、請求項1に記載の伸縮収納可能な携帯式記憶装置としている。

請求項3の考案は、前記伸縮収納可能な携帯式記憶装置において、少なくとも一つの側装飾条の二端部分にT形断面を呈するフック板が設けられ、ケースカバーの対応する結合部分に拡張開口が設けられ、並びに拡張開口の傍らより案内溝が延伸され、フック板が拡張開口に伸入し、並びに案内溝に沿ってスライドし、フック板が案内溝内に係止される時、側装飾条がしっかりとケースカバーの二側に結合されることを特徴とする、請求項2に記載の伸縮収納可能な携帯式記憶装置としている。

請求項4の考案は、前記伸縮収納可能な携帯式記憶装置において、一つの側装飾条の一端に記憶装置本体のスライド方向に沿って長孔が設けられ、且つ該長孔の一端側に隔板が設けられ、もう一端側に単側フック板が設けられ、ケースカバーの対応する結合部分に拡張開口が設けられ、並びに拡張開口の傍らより案内溝が延伸され、該隔板と単側フック板が拡張開口に伸入し、並びに案内溝に沿ってスライドし、単側フック板により案内溝内側に係止され、側装飾条がしっかりとケースカバーの側部に結合され、並びに長孔を経由してケースカバー内と連通する空間が形成されたことを特徴とする、請求項3に記載の伸縮収納可能な携帯式記憶装置としている。

(7)

実登3086525

請求項5の考案は、前記伸縮収納可能な携帯式記憶装置において、記憶装置本体の中段周縁に少なくとも一つの凸塊が設けられ、ケースカバーの内縁の対応位置に案内溝が設けられて、該凸塊の嵌入に供され、並びに記憶装置本体のケースカバー内でのスライドを案内することを特徴とする、請求項1に記載の伸縮収納可能な携帯式記憶装置としている。

請求項6の考案は、前記伸縮収納可能な携帯式記憶装置において、記憶装置本体のケースカバーの一端より露出する部分に少なくとも一つのフック孔が設けられ、繩或いはキーホルダーを通すのに供されることを特徴とする、請求項1に記載の伸縮収納可能な携帯式記憶装置としている。

請求項7の考案は、前記伸縮収納可能な携帯式記憶装置において、コネクタヘッドがUSBコネクタとされたことを特徴とする、請求項1に記載の伸縮収納可能な携帯式記憶装置としている。

【0008】

【考案の実施の形態】

図1は本考案の記憶装置本体の分解斜視図である。図2の側面分解構造表示図も参照されたい。本考案は、記憶装置本体1、ケースカバー2及び二つの側装部3、4を具えている。そのうち、記憶装置本体1の一端に外向きに拡張する凸係止部11が設けられ、そのもう一端に凸伸するコネクタヘッド12（USBインクフェースとされうる）が設けられ、該凸係止部11の周縁に少なくとも一つのフック孔111が設けられて、繩或いはキーホルダーを通すのに供される。記憶装置本体1の二側中段にそれぞれ外向きに突出する側凸塊14が設けられ、且つ記憶装置本体1の上側（或いは底側）に少なくとも一つの凸塊13が設けられ、記憶装置本体1の前述の二つの側凸塊14の傍らに別に駆動スイッチ15が設けられ、記憶装置本体1内のメモリユニットが書き込み動作を実行するか否かの制御に用いられ、ケースカバー2の一端に開口21が設けられ、前述の記憶装置本体1のコネクタヘッド12端に套設され、ケースカバー2の別端に貫通孔22が設けられ、記憶装置本体1のコネクタヘッド12が外向きに凸伸可能とされ、該ケースカバー2の二側側にそれぞれ開口21端より別側に向けて延伸された側開口231、241が設けられ、且つ側開口231、241の二端部分に拡張開口

(8)

実装3086525

232、233、242、243が設けられ、併らに開口21の同側に向けて案内溝2321、2331、2421、2431が設けられ、そのうち、ケースカバー2が完全に記憶装置本体1に套設される時、駆動スイッチ15と対応する拡張開口233（及び案内溝2331）と、その一辺側が平直を保持し、ケースカバー2内の記憶装置本体1の凸塊13と対応する部分に、開口21より内向きに延伸された案内溝25が設けられ、側装飾条3がケースカバー2の側滑り溝23側に套設され、その二端部分にT形断面を呈するフック板32と長孔33が設けられ、該長孔33の、ケースカバー2の拡張開口233の平直辺側に対応する側に隔板332が設けられ、もう一側に単側フック板331が設けられ、側装飾条3の中段のフック板32、長孔33間にストッパ板31が設けられ、側装飾条4がケースカバー2の側滑り溝24側に結合され、その二端部分にT形断面を呈するフック板42、43が設けられ、側装飾条4中段のフック板42、43間にストッパ板41が設けられる。

【0009】

図3から図8には本考案のコネクタヘッドの取組或いは凸伸使用時の各動作の立体、平面断面状態が示される。各図に示されるように、組立時には、まず、記憶装置本体1のコネクタヘッド12が開口21よりケースカバー2内に挿入され（凸塊13が案内溝25内に伸入し案内を形成する）、並びにコネクタヘッド12が貫通孔22より伸出し、さらに側装飾条3、4が側滑り溝23、24を被覆するよう結合され、フック板32、42、43がそれぞれ拡張開口232、242、243内に伸入し、側装飾条3の隔板332、単側フック板331がケースカバー2の拡張開口233内に伸入し、並びに案内溝2331内に滑り込み、単側フック板331が案内溝2331の辺側に係止され、側装飾条3、4がそれぞれケースカバー2の二側の側滑り溝23、24に位置決めされ、このとき、側装飾条3のストッパ板31と側装飾条4のストッパ板41がちょうど開口231、241より凸伸しケースカバー2内に伸入する。

【0010】

使用時、上述の側装飾条3のストッパ板31、側装飾条4のストッパ板41が記憶装置本体1の二側の側凸塊14とケースカバー2の開口21の間に凸伸し、

(9)

実態3086525

隔離を形成し、この時、手で凸係止部11を握持しケースカバー2を押し引きすることにより、ケースカバー2と記憶装置本体1に相対する伸縮スライドを形成させることができ、コネクタヘッド12を貫通孔22より外向きに凸伸させるか或いは収縮させる位置変化を形成でき、ストップ板31、41が二つの側凸塊14をストップすることにより、有効に記憶装置本体1の過度の外向きのスライドによるケースカバー2からの離脱を防止する。

【0011】

【考案の効果】

以上から分かるように、本考案の伸縮収納可能な携帯式記憶装置は、確実に使用が簡便で、携帯しやすく且つ保護効果が良好である機能を達成し、且つその構造は従来にはなく、実用新案登録の要件を具備している。なお、本考案に基づきなしうる細部の修飾或いは改変は、いずれも本考案の請求範囲に属するものとする。